交流センターだより おおとし

題名:キツネの子
お名前:長谷川まや

No.138
令和2年
9月号

発行 大歳地域交流センター　TEL 922-4035　FAX 922-4036　人 口 13,978　世帯数 6,786
開館時間 8時30分～17時15分　（行政窓口）　TEL 922-2461　令和２年８月１日現在

母親クラブからのお知らせ～ミニキャンプに参加しませんか？～

みんなおいでよ！
ぶちええ広場！

サンマプレゼント大作戦
※三間（時間、空間、仲間）

◇今年は新型コロナウイルスの感染予防の為、宿泊は行いません。
◇実施日の前２週間の間に県外に出られた方、県外の方と接触された方は参加をご遠慮いただきますようお願いいたします。
◇当日発熱されている方は参加できません。
※その他、三密にご注意いただくなど、感染拡大防止にご協力お願いいたします。

日　時：９月１２日（土）
１４：００～２１：００
場　所：朝田神社
内　容：レクリエーション、BBQ、花火大会など
参加費：大人（中学生以上）３００円
子ども（小学生）２００円
幼児　無料

タイムスケジュールなど、詳しい内容については大歳地域交流センターに置いてあるチラシをご覧ください♪

【申し込み（締め切り：９月５日（土）まで）】
・子ども会の方→地子連:田中（TEL･FAX:083-924-2622、携帯:090-5699-5608）
・子ども会以外の方→くすの木母親クラブ:宮成（携帯:090-6842-1458、FAX:083-924-2261）
上記連絡先まで、**①お名前②年齢（学年）③緊急時連絡先**をお願いいたします。

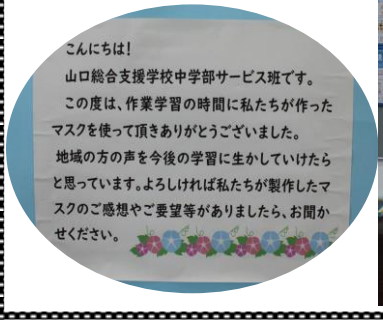
ブックスタート体験会のお知らせ

絵本に関心を持ち始める時期の乳幼児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈し、絵本を通して親子の絆を強めることができる「ブックスタート体験会」を開催します。ぜひご参加ください。

日　時：１０月２日（金）
１０：００～１２：００
１４：００～１６：００
場　所：大歳地域交流センター　和室
対　象：令和２年２月１日から
令和２年５月３１日の間に生まれた
乳幼児とその保護者
問い合わせ：山口市立中央図書館
℡０８３－９０１－１０４０

山口総合支援学校の掲示板を設置しています♪

山口総合支援学校の皆さんが、大歳地域交流センターに掲示板を設置してくれました♪
シンボルツリーのナツメの木をイメージしたもので、支援学校の皆さんからのメッセージもありますし、皆さんからのメッセージを届けることもできます。
ぜひ見て、そして書いてみてくださいね♪



子育てマナビィ受講生募集します

家庭の中で父親として何をすればよいのか、頭を悩ませているお父さん、いらっしゃいませんか？

「父親だからこそできること」「父親の役割は何か」について、講師の先生を交え、お父さん同士の語り合いを通して我が家の子育てスタイルを考えていきます。

日　時：１０月３１日（土）
１０：００～１２：００
場　所：宮野地域交流センター　大会議室
対　象：子育て中（０歳～中学３年生）の保護者
２０名程度
講　師：本原　浩一　氏（山口市陶小学校校長）
参加費：無料
持参物：筆記用具
申込受付：９月１４日（月）～１０月１４日（水）

【申し込み・問い合わせ】
①山口市ウェブサイトから申込　☛　詳しくはこちら
②山口市教育委員会社会教育課
（０８３－９３４－２８６６）まで電話を。

青空コーラスに参加してみませんか？

童謡、唱歌、昭和の歌、合唱曲など、毎週月曜日の１４：００から大歳地域交流センターで練習しています。

デイサービス訪問や、大歳地区のおまつりへの出演、山口総合支援学校への訪問等、楽しく活動しています。

性別や年齢問わず、どなたでも参加 OK です。お子様と一緒の参加も、大歓迎です！

一緒に歌ってみませんか？ぜひ一度、見学に来てみてくださいね♪

代表：松尾 都（080-3875-6681）

大人の居場所からのお知らせ

～ビデオ鑑賞＆クールシェア～

みんなで楽しく笑いあり・感動ありの『ビデオ鑑賞会』をしましょう。そして、みんなで元気に『山口弁ラジオ体操』をしますよ♪

貴男も貴女も！みなさんぜひお誘い合わせの上、気軽にご参加くださいね♪

もちろん、おひとりでも大丈夫ですよ♪

日　時：９月１９日（土）
１３時３０分～１５時３０分
場　所：大歳地域交流センター
２階　講堂
内　容：ビデオ鑑賞&山口弁ラジオ体操
参加費：１００円
問い合わせ：大人の居場所　代表　大窪
（ＴＥＬ　０８０－２９０４－８１９３）

太陽クラブからのお知らせ

～親子で楽しくリトミック♪～

リトミックとは、スイスの音楽教育家が開発した身体を使って音楽を楽しむ教育で、心と身体のバランスを整え集中力を身に付けることができます。

日　時：９月２５日（金）
１０：００～１３：００
場　所：大歳地域交流センター　２階　講堂
持参物：飲み物、お弁当（食べる方のみ）
参加費：無料
対　象：未就園児の親子（１０組程度）
申し込み：太陽クラブ　竹中
（ＴＥＬ　０９０－７１３６－８３０５）
※申込締切：９月１８日（金）
※新型コロナウイルスの影響により
中止になる場合があります。

「ベーシックヨガ講座」を開催します♪

ヨガでいつまでも健康な心と体を作りませんか？ゆったりとした雰囲気の中、痩せるポーズや、腰痛・肩こりの改善を促すヨガを中心に行います。

日頃運動不足を感じている方、ヨガを体験してみたい方、気軽にご参加ください♪

日　時：９月２６日（土）１０：００～１１：３０（９０分）
場　所：大歳地域交流センター　和室
参加費：無料
定　員：先着１０名（中学生以上）
持参物：ヨガマット（バスタオルでも可）
　　汗拭きタオル、飲み物
申し込み：大歳地域交流センター
(℡：０８３－９２２－４０３５、９月１日から受付開始)まで

大歳ヨガ教室は毎週水曜日、大歳地域交流センターにて活動を行っています。
①シニアヨガ（14:00～15:00）②昼ヨガ（15:30～17:00）③夜ヨガ（18:30～20:00）の３部に分けて実施しています。
男女問わず健康になりたい方ならどなたでも。
ヨガに興味のある方、ぜひ大歳地域交流センターまでお問合せください♪

母推さんの子育て応援講座について

９月９日（水）に実施を予定していた、「母推さんの子育て応援講座」につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、**中止といたします。**

楽しみにされていた方には大変申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

大歳体育振興会からのお知らせ

１０月４日（日）に開催を予定しておりました第４３回大歳地区分館対抗バドミントン大会につきまして、新型コロナウイルスの感染拡大防止を考慮し、**中止といたします。**

楽しみにされていた方には、大変申し訳ありませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

【大歳地区９月の行事予定】

3 日(木) 燃やせないごみの日
11 日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
11 日(金) 金属・小型家電製品の日
12 日(土) ぶちええ広場「ミニキャンプ」(14:00～21:00)
16 日(水) びん・缶の日
18 日(金) パソコン相談(10:00～12:00)
19 日(土) 大人の居場所(13:30～15:30)

24 日(木) 古紙ペットボトル分別収集(大歳①)
25 日(金) 子育てサークル太陽クラブ(10:00～13:00)
25 日(金) ぶっくん来館日(15:20～16:00)
26 日(土) ベーシックヨガ講座(10:00～11:30)
30 日(水) 古紙ペットボトル分別収集(大歳②)
※木曜日はプラ容器包装分別収集

大歳と災害　その１

江戸時代の洪水　暴れ川＝椹野川

岩富の田中家の当主が代々書き残した「年中吉凶記録」を見ると、大歳では、江戸時代中期の元禄13（1700）年から幕末までの約150年間に57回もの洪水に見舞われています。

そうした洪水の様子を、天保11（1840）年の林勇蔵の目を通してみてみましょう。勇蔵が見たのは「小郡から黒川市まで一面湖のごとき」光景でした。これは一面水に浸かった中で、固まって屋根が見える一帯を黒川市と判断しただけですから、矢原側が浸からなかったわけではありません。「年中吉凶記録」によれば、この洪水で仁保から大内の一帯は大破し、近辺では平井、小原が大破、その他数カ所土手が切れ、小郡も大破したと書かれており、椹野川の上流から下流までことごとく洪水に襲われた様子がわかります。林勇蔵が椹野川大改修を決意したのはこの時で、それから 50 年後にようやくその願いが実現します。

この当時の椹野川は大内と平井の境あたりで幅70間（＝126m）、平井と矢原との境で80間（＝144m）、矢原一帯が中流域では最も広くなり120間（216m）のところもあったと書かれています。しかし、矢原と黒川との境あたりで85間（163m）あった椹野川が朝田と上郷との境では45間（81m）になっています。このため、ひとたび大水がでると、朝田でせき止められた水が上流一帯に広がりしばしば洪水被害をだしました。さらに、現在の岩富―朝田間の福良で九田川が椹野川に流れ込み、吉敷川が川久保で、そして朝田川が狭くなった椹野川のすぐ上手に流れ込んでいました。これらの川が椹野川の増水と共にバックウォーター（逆流）を起こして、被害を一層拡大していました。

もっとも、椹野川の広さは堤防から堤防までの距離で、実際は河原がだだっ広く広がっていたと思われます。矢原に架かっていた吉富渡瀬板橋が10間（18m）で幅１尺（30cm）（おそらく板一枚をかけただけの橋）、石津渡瀬土橋が16間（29m）、幅５尺（1.5m）とありますから、堤防を降り、河原を歩いて、水が流れるところだけ渡る橋だったのでしょう。

こうした椹野川の日常的な姿と増水時の姿の差は流域住民には恐怖の的だったでしょう。広い河原の真ん中をのどかに流れていた川が、増水すると堤防から堤防まで一面濁流に覆い尽くされ、何倍もの大きさとなった暴れ川に変身する上、堤防を水が越えなくても、水の勢いで堤防が少しづつ剥ぎ取られ、決壊することが多かったと思われます。今年７月の大雨で仁保川の堤防が一部剥ぎ取られましたが、それは固定せきで水が食い止められ水位があがる所で、しかも川の左手に砂州があるため、水が右側に集まって、その勢いで堤防の一部が削り取られたのです。現在の技術では堤防決壊までには至りませんでしたが、江戸時代なら堤防が決壊していたでしょう。こうして３年に一度の洪水が大歳を襲ったのです。

ゆめタウンの向かい側にあたる仁保川の堤防の決壊
（令和２年７月）

（大歳史談会、　文責：武波義明）